

## 県内大学「研究室訪問交流講座」(文系) 開催しました！



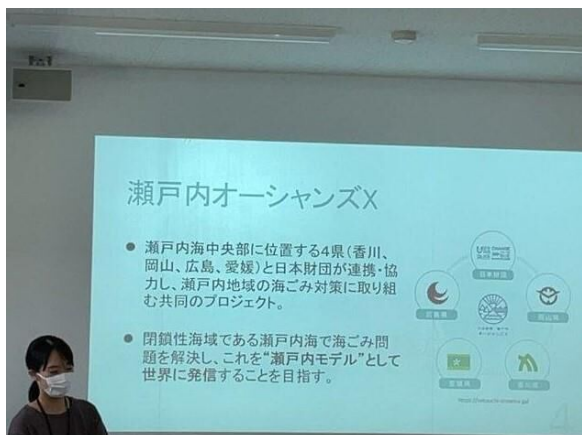
- 日時 令和4年8月6日(土) 13:00~15:30
- 会場 香川大学幸町南キャンパス 総合教育棟(DRI棟)2階多目的室23
- 講師 原 直行 氏(香川大学経済学部教授)

8月6日(土)に、香川大学幸町南キャンパスにて、県内大学「研究室訪問交流講座」(文系)を開催し、高校生11名が受講しました。

はじめに、講師よりゼミの研究内容の紹介がありました。ゼミでは教室での学修とフィールドワークでの実践を繰り返しながら、地域活性化に繋がる観光振興策・地域振興策やSDGs・環境保全に寄与する事業を企画・実践しているというお話がありました。事例として、JR四国等民間企業と旅行商品の企画・販売、香川県と海ごみ問題への取り組み、小豆島でのワーケーションによる観光振興・地域振興などの取り組みの紹介があり、座学だけでなく、フィールドに出て実践・体感しながら学んでいく事が大切という説明がありました。



次に、原ゼミの4年生より、里海・環境問題の取り組みの紹介がありました。海ごみの多くはプラスチックごみで、その大部分は陸域から流入し、海やその周辺で暮らす生物や、観光業・漁業等に影響を及ぼしているというお話がありました。そして、海ごみ問題を解決する取り組みとして、瀬戸内オーシャンズXの活動についての説明がありました。また、海ごみ問題の取り組み事例として、兵庫県や鹿児島県の環境まちづくりの取り組み、山形県やオランダの観光ツアーの取り組みの紹介がありました。



その後、講師よりグループワークを行う上でのルールやアイデア出しの手法を学び、①海ゴミ問題に取り組む環境まちづくり②海ゴミ問題に取り組む観光ツアーづくりのいずれかのテーマについて考えました。

グループワークでは、はじめに自己紹介を行い、大学生がサポートをしつつグループ内の意見やアイデアを書き出しながらまとめ、代表者が発表しました。

「エコの輪Project」と名付けられた地球に優しい循環型の海の家運営では、海ごみや環境に優しい素材を使用した浮き輪・ボートの貸し出し、Tシャツや水着などの衣類の販売、食事の提供やワークショップ、海岸清掃など高校生の柔軟な発想からたくさんアイデアが生まれました。



最後に、大学生との交流会が行われました。高校生は、受験や大学生活について積極的に質問していました。受講者からは、「初めて会った人と意見を交換したり、大学生と話したり出来るととても楽しかった」、「高校では聞けないことが聞いて良かった」等の感想がありました。